

須崎調整池の野鳥

須崎調整池は、始良市加治木町木田の干拓地にある小さな池です。堤防に囲まれた人工的な池ですが、絶滅危惧種であるクロツラヘラサギの越冬地として知られており、また、多くのカモ類が飛来する有名な場所です。

企画展「いっぺこっぺ湿地」の取材のために、当地をたびたび訪れました。今回は取材した際に観察できた野鳥の一部を紹介したいと思います。



須崎調整池

ツクシガモ

特徴的な模様の大規模のカモで、ユーラシア大陸の温帯部に広く分布し、日本へは九州有明海を中心に冬鳥として渡来します。鹿児島湾奥の干潟、調整池、河口で、数十羽ほどの群れで休む様子を観察できます。当地においても、20羽ほどの群れを観察できました。



ツクシガモ

オナガガモ

尾が長く首が細いのが特徴のカモで、北半球に広く分布し、日本へは越冬のために飛来します。逆立ちして水面下の餌を探ることが多く、当地においても盛んに餌を探す様子を観察できました。



オナガガモ



採餌のようす

ハシビロガモ

くちばしが横に広く大きいことが特徴のカモで、日本へは、冬鳥として比較的長い期間滞在します。くちばしの中にはブラシ状になった板歯があり、藻類やプランクトンをこしとって食べることができます。



ハシビロガモ

ソリハシセイタカシギ

上向きに反った独特の形状のくちばしが特徴の大規模のシギで、日本では稀な旅鳥として干潟や河口、池などに渡来します。稀な旅鳥のはずですが、当地においては、ここ数年、頻繁に見られるようになりました。



ソリハシセイタカシギ

須崎調整池は、取材の度に多くの野鳥を観察できる興味深い探鳥地でした。比較的安全に野鳥観察ができる場でもあるので、ぜひ訪れてみてください。